

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	()
目標年度	令和15年度
市町村名 (市町村コード)	内灘町 (17365)
地域名 (地域内農業集落名)	向粟崎地区 (向粟崎)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	25.99 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	25.99 ha
② 田の面積	ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	25.99 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	ha
(参考)区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

・意向調査の結果として、地区の担い手は現状維持(経営面積の維持)を希望する声が最も多く、年齢層も50代を中心に30代の方も居るので集積について当面の間は問題無いと思われるが、大野町生産組合が中心となって高齢かつ後継者が不在もしくは未定の担い手の農地を今後どうしていくか等先を見越して考えていく必要がある。

・現状の地区の課題として、時間帯によっては水不足が発生するということが挙げられるので対策を考える必要がある。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

・現状ある程度集積が進んでいるので、必要に応じて農地の集約化を検討し効率的な農業を行えるようにする。

・水不足の現状に対して農業用のため池を設置する等の改善策を検討し、生産物の収量や品質の維持・向上を図る。

・甘藷、西瓜等の生産物の収量や品質の向上を図る為にスマート農業技術の導入等を積極的に検討する。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
・これまでと同様に大野町生産組合の担い手を中心に農地の集積・集約化を図る。 ・現在の農用地利用集積計画による利用権が終期を迎えるものから順次、中間管理機構を利用する農用地利用集積等促進計画への移行を行う。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	83.7	%	将来の目標とする集積率
			87.5 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
・耕作放棄地や遊休農地が発生しないように大野町生産組合に所属する担い手を中心に集積・集約化を行い現状の集積率の維持・向上を図る。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
・定期的に地域計画の見直しを行うことで、地区の現状について適切に把握し、離農等の不測の事態が発生しても適宜対応できるようにし、農地の集積を維持する。
(2)農地中間管理機構の活用方法
・現時点で担い手による集積がされている農地については順次、農地利用集積計画から農用地利用集積等促進計画へ移行するようにし、現時点で集積されていない農地については所有者等の意向を踏まえつつ適宜農地中間管理機構を利用し集積する。
(3)基盤整備事業への取組
・大規模な基盤整備事業に限らず農地耕作改善事業の活用等必要に応じて随時検討するようにし、耕作条件の改善を図る。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
・大野町生産組合を中心にJA等関係機関と連携し、多様な経営体の確保・育成に取り組む。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
・現状、取り組んでいるJA金沢市への甘藷に対する防除作業の委託を継続する。 ・現場のニーズを踏まえた上で、作業の効率化・省略化の為に導入することを随時検討する。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

☐ ①鳥獣被害防止対策	☒ ②有機・減農薬・減肥料	☒ ③スマート農業	☐ ④輸出	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☒ ⑧農業用施設	☐ ⑨その他	

【選択した上記の取組内容】

②堆肥の活用等、有機・減農薬による農法を積極的に取り入れ、環境に配慮した作付け体系を構築する。
③農作業の効率化・省略化に向けて日々情報収集を行いつつ積極的に導入を検討する。
⑧担い手の営農や農業を担う者の利用状況などを考慮の上、必要に応じて出荷・調製施設及び農業用施設を整備する。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 15 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
認農		甘藷、西瓜	1.36 ha	ha	甘藷、西瓜	1.36 ha	ha	A	
認農		甘藷、西瓜	2.49 ha	ha	甘藷、西瓜	2.49 ha	ha	B	
認農		甘藷、西瓜	0.29 ha	ha	甘藷、西瓜	0.76 ha	ha	C	
認農		甘藷、西瓜	3.17 ha	ha	甘藷、西瓜	3.41 ha	ha	D	
認農		甘藷、西瓜	3.42 ha	ha	甘藷、西瓜	3.42 ha	ha	E	
認農		甘藷、西瓜	5.23 ha	ha	甘藷、西瓜	5.71 ha	ha	F	
認農		甘藷、西瓜	2.12 ha	ha	甘藷、西瓜	2.12 ha	ha	G	
認農		甘藷、西瓜	0.83 ha	ha	甘藷、西瓜	0.83 ha	ha	H	
認農		甘藷、西瓜	2.85 ha	ha	甘藷、西瓜	2.85 ha	ha	I	
認農			ha	ha	甘藷、西瓜	2.35 ha	ha	J	
認農			ha	ha	甘藷、西瓜	0.23 ha	ha	K	
認農			ha	ha	甘藷、西瓜	0.46 ha	ha	L	
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計			21.76 ha	0 ha		25.99 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1	JA金沢市	ドローンによる防除作業	甘藷

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。